

## 前回ニーズ調査の項目について

資料5

### 【小学校就学前のお子さんの保護者】

前回、国から提示のあったモデル調査票には、就学前の教育・保育の量の見込みを算出する必須項目と、それ以外の任意項目がありました。市ではこれを基に、さまざまな子ども・子育て支援の取組を検討するための独自設問を追加して設問を構成しました。

※前回の構成 (◎=国の基本必須項目 △=国の任意項目 \_\_\_\_\_ =市独自項目)  
※【 】は前回の設問番号

大項目	頁	設 問	
1 調査対象者の 属性等	3	回答者【1】、子どもの年齢【2】、 <u>子どもの健康状態【3】</u> 配偶者の有無【4】、同居者【5】、子育てを主に行っている者【6】 ( <u>父親が子育てに関わっていない理由【6①】</u> )、	◎
	4	居住地区【7】、 <u>居住歴【9】</u> 、 <u>居住継続の意向【10】</u>	
2 保護者の 就労状況	4	母親・父親の就労形態・就労日数【11①②】 出勤帰宅時間【11①②-1】	◎
	5	フルタイムへの転換希望【11-③】	◎
	6	非就労者保護者の就労意向【11④】 ( <u>就労の予定がない理由【11⑤】</u> )	◎
3 平日の 教育・保育 サービスの 利用状況	7	利用の有無【12】、利用中のサービス【12①】、	◎
	8	<u>→市内外の別、送迎方法、各時間：現在・希望【12②】</u>	
	8	<u>保護者自身で送迎可能な範囲（方法別時間）【12③】</u>	
	9	今後の利用意向（種類）【13】	◎
	9	<u>乳幼児期の集団での保育・教育が必要と考える時期、量【14】</u>	
4 教育・保育の 事業探し	9	<u>サービス選択で重視する点【15】</u>	
	10	<u>送迎保育ステーションの利用意向【16】</u>	
	10	<u>事業を探した経験【17】、探した結果【17①】、結果の満足度【17②】、</u> 11 <u>不満の理由【17③】</u>	
5 地域の 子育て 支援事業	11	<u>事業を探さない・探さなかった理由【17④】</u>	
	11	<u>待機児童削減に効果的と思う取組【18】</u>	
	12	市事業の認知度【19】、利用の有無・利用頻度【20】、 <u>満足度【20①】</u>	◎
12	12	<u>都の「赤ちゃん・ふらっと」の認知度、利用の有無、利用意向【21】</u>	
	12	市事業の今後の利用意向【22】	◎

大項目	頁	設 問	
6 土休日、 休暇中の対応	13	利用希望（土・日祝別）・意向（時間帯）【23】	◎
	13	幼稚園利用者の利用希望・意向（時間帯）【24】	◎
7 病気の際の 対応	13	<u>市の病児・病後児保育の認知度【25】、利用有無【26】、</u>	
	14	<u>満足度【26①】、利用意向【26②】</u>	
	14	病気による教育・保育事業利用不能の経験【27】、 病気の際の対応の方法【27①】、 病児・病後児保育施設の利用意向・日数【27②】	◎
	15	<u>病気の際の訪問型サービスの利用意向【28】</u>	
8 不定期の 教育・保育 事業や 宿泊を伴う 一時預かり等	15	<u>市の一時預かりの認知度【29】、利用有無【30】、満足度【30①】、</u> <u>市のショートステイ事業の認知度【31】、利用有無【32】、</u> <u>満足度【32①】</u>	
	16	保護者の用事で泊りがけの預けに家族以外で対応したケースの有無、対 処方法【33】	◎
	16	不定期に利用している事業の利用状況（預け先、日数）、 未利用理由【34】	◎
	16	<u>ファミリー・サポート・センター利用の満足度【34①】</u>	
	17	不定期な事業利用の意向意向（預け先、日数）、利用不要の理由【35】	◎
9 放課後の過ごし方 （5歳以上）	17	小学校就学後、放課後を過ごさせたい場所、 日数（低学年・高学年）【36】	◎
10 子育て全般に ついて	18	<u>子育てを楽しんでいるか【37】</u>	
	18	<u>子育てに有効、つらさ解消に必要と思うこと【37①】</u>	
	18	気軽に相談できる人や場所【38】	△
	18	<u>保護者の自己肯定感【39】</u>	
	19	<u>こどもをたたくことの有無【40】、たたくことがある理由【40①】</u>	
	19	<u>仕事・育児・プライベートの優先度【41】</u>	
	19	<u>市や地域主催のイベントや講習への参加意向【42】</u>	
20	<u>参加したい活動の種類と内容【42①】</u>		
自由意見	20	<u>その他子ども・子育て支援に対する自由意見</u>	

## 【小学生のお子さんの保護者】

前回、量の見込みは、【小学校就学前のお子さんの保護者】を対象とする調査で算出する方法が国の手引きで示されており、小学生のお子さんを持つ保護者へのアンケートについては、具体的な国からのモデル調査票の提示はありませんでした。市では就学前の保護者アンケートなどを参考に、小学生の保護者に対して適切と考えられる設問でアンケートを構成しました。

※前回の構成（国の基本必須項目、任意項目等の種別はありません）

※【 】内は前回の設問番号

大項目	頁	設 問
① 調査対象者の 属性等	2	回答者【1】、子どもの年齢【2】、子どもの健康状態【3】、
	3	配偶者の有無【4】、同居者【5】、子育てを主に行っている者【6】 （父親が子育てに関わっていない理由【6①】）、 居住地区【7】、居住歴【9】、居住継続の意向【10】
② 保護者の 就労状況	4	母親・父親の就労形態・就労日数【11①②】 出勤帰宅時間【11①②-1】
	5	フルタイムへの転換希望【11-③】
	5	非就労者保護者の就労意向【11④】 （就労の予定がない理由【11⑤】）
③ 子どもの 放課後の居場所	6	市の学童クラブの認知度【12】、
	7	放課後の過ごし方（場所・日数・時間）【13】、 学童クラブ利用者の土曜日の利用状況【13①】、 学童クラブの満足度【13②】
	7	小学校 4-6 年で放課後を過ごさせたい場所（日数・時間）【14】
	8	（小学校 5-6 年）市のサービス・場所の利用意向（希望順位）【15】 希望順位の理由【15①】
④ 病気の際の対応	8	市の病児・病後児保育の認知度【16】、利用有無【17】、満足度【17①】、
	9	利用意向【17②】
	9	病気やケガで学校を休んだ経験の有無【18】、 病気やケガで学校を休んだ際の対応の方法【18①】、 病児・病後児保育施設の利用意向・日数【18②】
	9	病気の際の訪問型サービスの利用意向【19】

大項目	頁	設 問
5 不定期の 教育・保育 事業	10	市のファミリーサポート・センターの認知度【20】、 利用有無【21】、満足度【21①】
	10	市の一時預かり（ショートステイ事業）の認知度【22】、 利用有無【23】、満足度【23①】
	11	不定期に利用している事業の利用状況（預け先、日数）、未利用理由【24】
	11	子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験の有無（対処方法、日数） 【25】
	11	不定期な事業利用の意向意向（日数）【26】
6 児童館・ 児童センター の利用	12	市の児童館・児童センターの認知度【27】、利用有無【28】、 要望【28①】、満足度【28②】、 中学生以降の児童館・児童センターの夜間利用意向【28③】
	12	児童館・児童センターを利用しない理由【28②1】、 今後の利用意向【28②2】
7 子どもや 保護者の 生活環境	13	育成会、ボーイスカウト等の地域活動やグループ活動への参加有無、今後の 意向【29】、 よく利用する施設【30】、 サッカー、ダンスのクラブチーム等、子どもに関する自主的な活動への参 加有無、今後の意向【31】
8 子育て全般に ついて	14	子育てを楽しんでいると感じるか【32】
	14	子育てに有効、つらさ解消に必要と思うこと【32①】
	14	気軽に相談できる人や場所【33】
	14 15	保護者の自己肯定感【34】、 こどもをたたくことの有無【35】、たたくことがある理由【35①】
	15	乳幼児期の集団での保育・教育が必要と思う時期・時間【36】
	15	仕事・育児・プライベートの優先度【37】
	15	市や地域主催のイベントや講習への参加意向【38】
	16	参加したい活動の種類と内容【38①】
自由意見	16	その他子ども・子育て支援に対する自由意見